

## 平成26年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立西与賀小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

### ■ 調査期日

平成26年4月22日(火)

### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

### ■ 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査

| 主として「知識」に関する問題<br>〔国語A, 算数A〕  | 主として「活用」に関する問題<br>〔国語B, 算数B〕   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li><li>実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容</li><li>様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容</li></ul> |

#### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査                     | 学校に対する調査  |
|--------------------------------|---|
| 学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面に関する調査 | 指導方法に関する取り組みや人的・物的な教育条件の整備の状況, 児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査 |

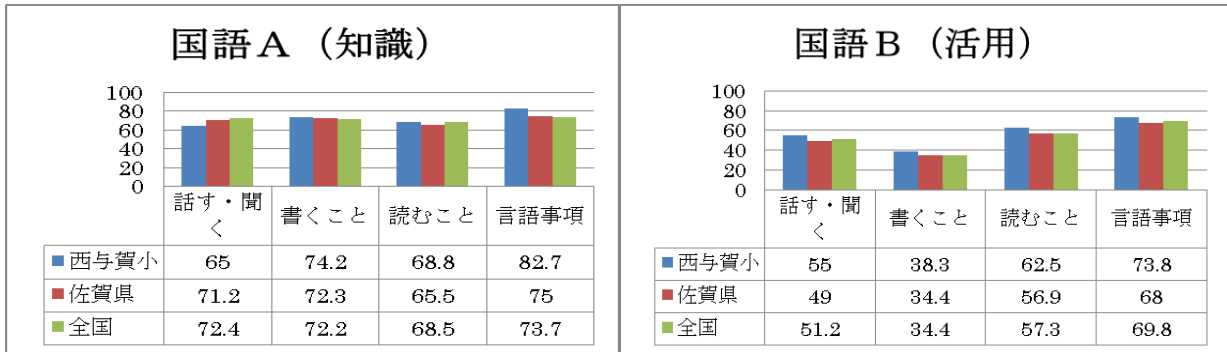
### ■ 調査結果及び考察について

次ページからの調査結果及び全国学力学習状況調査は小6・中3と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ごらんください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語

#### (1) 結果（西与賀小正答率、佐賀県正答率、全国正答率との比較）



国語 B は全領域の正答率が全国平均を上回っている。

国語 A は「書くこと」「読むこと」「言語事項」の3つの領域で全国平均を上回っているが、「話す・聞く」領域は全国平均を下回っていた。どの問題でも無回答率が低かった。

#### (2) 成果と課題

##### 話す・聞く

・国語 A では、話し合いの観点に基づいて情報を関係付ける問題の正答率が少し低かった。国語 B では、目的に応じて話し合いの観点を整理する問題が特によくできていた。

##### 書く

・国語 A では、仮定の表現として適切なものを選択する問題がよくできていた。国語 B では分かったことや疑問に思ったことを整理しそれらを関係付けながらまとめて書く問題の正答率が低かった。

##### 読む

・国語 A では情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する問題の正答率が少し低かった。国語 B では、2つの詩を比べて読み表現の工夫を捉える問題がよくできていた。

##### 言語事項

・言語についての知識・理解・技能は国語 A 国語 B ともに正答率が高かった。

#### (3) 学力向上のための取り組み

##### 【学校では】

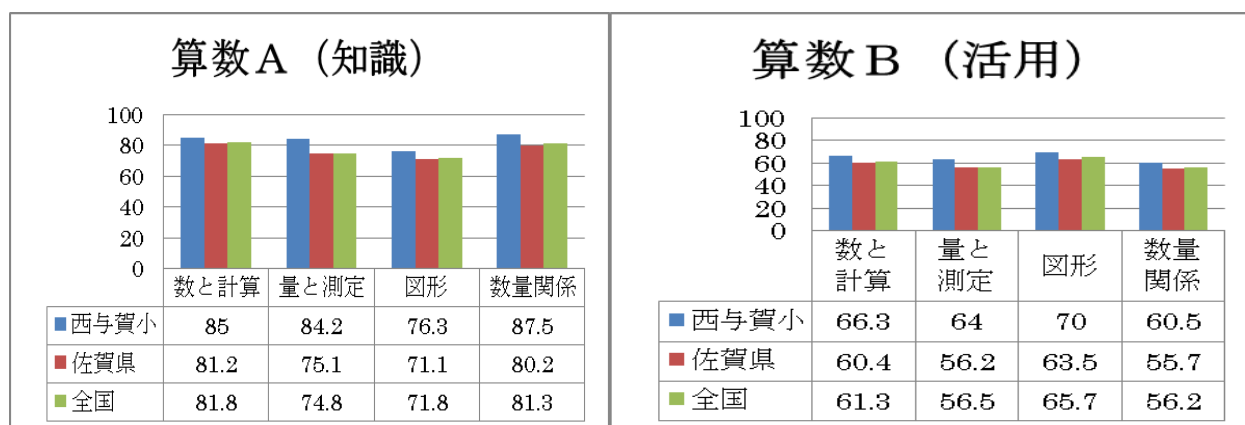
- 「話す・聞く」領域が全国平均より低かったことから、授業をはじめ様々な行事などで考えを表現し意見交流する場をできるだけ設定し、相手の話の主旨を捉え自分の意見を表現できるコミュニケーション力の習得に努めます。
- 自分の考えをノートに書き表すとき、相手に伝える意識を持たせ、より分かりやすく考えをまとめる力の習得を目指します。

##### 【ご家庭では】

- 音読が学習の基本です。お子さんの音読を毎日聞いてあげてください。繰り返し音読することで、文の構成や言葉の意味を理解し、すらすら読めるようになります。文章を読んで要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科で必要な力です。
- 「今日はどうだった?」「何が楽しかった?」などを問いかけて、お子さんと会話を楽しんでください。お子さんの話は最後まできちんと聞いてあげてください。
- 親子でいろんな本を読みましょ。様々な表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。

## 2 算数

### (1) 結果(西与賀小正答率、佐賀県正答率、全国正答率との比較)



基礎的な知識を問うA問題、活用力を問うB問題ともに全ての領域で全国平均を上回っていた。

### (2) 成果と課題

#### 数と計算

・正答率が高くよくできていた。算数 A 問題では、示された図を基に、80cmの0.4倍にあたる時の長さを求める式を選ぶ問題の正答率が低かった。算数B問題では、「1あた半」の長さをあらわしている図を選ぶ問題の正答率が低かった。

#### 量と測定

・全国の正答率を10ポイント近く上回っていた。算数B問題では、示された場面から基準量と比較量を捉えて倍を求める問題が特によくできていた。

#### 図形

・全国平均を上回っていた。算数A問題では、コンパスを使った平行四辺形の書き方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ問題の正答率が低かった。

#### 数量関係

・数量関係も全国平均を上回っていた。算数B問題では、繰り返されるリズムの規則性を見だし、それを基に小節数を求める問題の正答率が低かった。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 授業での確実な定着を目指します。少人数での話し合いや、全体場で話し合うみんなでタイムを実践し、言語活動を多く取り入れます。
- 朝の「スキルタイム算数」や放課後の「すくすくテスト」等を活用して単元ごとの確実な習熟を目指します。
- 日々の指導（TT少人数指導、ノートチェック、補充プリント、ドリル学習、家庭への課題など）の中で個々のつまずきを早期に見つけ、補充指導に努めます。

#### 【ご家庭では】

- お父さんが今何を学習しているのか、理解できているのか、問題を解くのにどれくらい時間がかかっているのかを見てください。算数ノートやドリル・プリント等の宿題、テストなどにも目を通していただき、励ましや称賛の言葉かけをお願いします。
- 学習したことを生活の中で使うことができると、「便利だな」とか「おもしろいな」と思うものです。算数で使えるものはないかと少し意識していただき、親子いっしょに生活場面で算数を使ってみてください。

### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査

#### (1) 結果 《生活習慣について》

| 調査項目                               | 本校 % | 全国平均 % |
|------------------------------------|------|--------|
| 朝食を毎日食べていますか。                      | 87.5 | 88.1   |
| 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。                | 42.5 | 37.4   |
| 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。               | 57.5 | 58.0   |
| 平日2時間以上テレビを見る。                     | 50.0 | 61.3   |
| 平日2時間以上ゲームをする。(TVゲーム・パソコン・携帯型等も含む) | 22.5 | 30.3   |
| 平日読書を30分以上している。                    | 45.6 | 38.2   |
| 平日読書は全くしない～10分未満。                  | 20.0 | 35.2   |

朝食・就寝・起床については全国平均なみである。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムは今後も継続して指導していく必要がある。

テレビやゲームについては、全国平均よりも良い結果であった。しかし長時間のテレビやゲームが常習となっている児童もいる。

読書については半数に近い児童が30分以上読書をしている。「平日は読書は全くしない～10分未満」は全国平均に比べれば少ないが、20%もいることが分かった。

#### 《家庭学習の様子について》

| 調査の項目                           | 本校 % | 全国平均 % |
|---------------------------------|------|--------|
| 平日2時間以上勉強している。                  | 10.0 | 25.8   |
| 平日1～2時間勉強している。                  | 60.0 | 36.2   |
| 平日0～1時間勉強している。                  | 30.0 | 37.9   |
| 家で、学校の宿題をしている。(どちらかといえばしているも含む) | 90.0 | 96.5   |
| 家で、授業の予習をしている。(どちらかといえばしているも含む) | 40.0 | 43.2   |
| 家で、授業の復習をしている。(どちらかといえばしているも含む) | 55.0 | 54.0   |

家庭での学習時間は個人差があるが、長時間家庭学習をしている児童は全国平均よりも少ないが、70%の児童が1時間以上の家庭学習をしている。

宿題・予習・復習については全国平均なみである。まずは宿題をきちんとやり、さらに家庭学習の質を高め、量を増やしていく必要がある。

#### (1) 改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

- 「音読」「漢字練習」「プリントやドリル」を基本に宿題を出しています。自主学习(自学)についても中・高学年で取り組み、お手本になる自学ノートを掲示するなどして意欲を喚起し、定着しつつあります。これからも継続して指導をしていきたいと考えています。
- 読書を推奨し、あしのご読み聞かせを行うなど読書の機会を増やすための工夫を今後も継続していきます。

##### 【ご家庭では】

- 「家庭学習の手引き」をご覧になり、学習時間のめやすや自主学习の説明を参考に、自分で決めて学習できるように励ましていただければと思います。
- 規則正しい生活と家庭学習の定着を目指して「生活パワーアップ2014」を隔月で行います。お子さんが自分からできたときや、少しでも向上したときを逃さずに認め褒めることで意識が更に高まると思います。ご協力をお願いいたします。